

8月の長雨 伴地区の被害 牙むいた裏山を背に 懸命の作業が進む



裏山を含め全体の復旧に全力を
伴学区町内会連合会・加藤栄治会長の話
大変な被害を受けられた伊藤家の復旧に力を一との呼び掛けにこんなに多くの地域の方々の参加をいただき、そして安佐南区災害ボランティアセンターの支援を受け、皆さまに心から感謝いたします。伊藤家の皆さんが安心して生活できるまでには裏山の安全対策を含めて多くの課題があり、行政にできるだけ早く対策をとっていただくように訴えていきたい。

ボランティア結集

災害から3週間。地元や区社協から駆けつけた約100人のボランティアが活動を開始しました（9月4日、奥畑川の対岸から）



↑ 上の2枚は9月4日区社協災害ボランティアセンターから広大生を含めて20人、地元68人が黙々と。下の2枚は9月11日。ボランティアが入って4日目。家の周りを埋め尽くしていた土砂の山が無くなる急ピッチの姿にボランティアの輪の力をみました ↓



1日に対策説明会

今回の伴中央1丁目の土砂災害を受けて、広島市の安佐南区と西風新都整備部の説明会が10月1日午前10時から、沼田公民館で開催されます。

近隣の住民の皆さんで希望の方はご出席ください。

＜編集後記＞

阪神大震災から始まったと言われる災害方に学ぶ点の多い貴重な体験でボランティアが伴地区に入ったのは今回が初めて。安佐南区社協の運営の仕した。今回参加した団体をここで紹介します。戸山・伴・大塚地域包括支援センター◇福寿会◇ボーイスカウト広島県連盟安佐第6団◇ソフトボールチーム◇安佐南区社会福祉協議会災害ボランティアセンター◇伴学区体育協会◇伴学区社会福祉協議会◇伴学区町内会連合会（順不同）